

**平成 2 8 年 度**

**5 月 定 例 教 育 委 員 会**

**会 議 録**

**( 公 開 )**

**平 成 2 8 年 5 月 1 9 日**



## 1 開 会 13時30分

教育長から、「議題第4号」、「議題第5号」、「議題第6号」については人事に関するものであることから非公開での審議が適当である旨の提案がなされ、出席委員全員で異議なく決定した。

## 2 前回の会議録の承認

教育長から、4月19日の4月定例教育委員会公開部分の会議録の承認について諮られ、出席委員全員で異議なく承認した。

## 3 議 事

### ◎ 議題第3号 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の改善について

#### 総務課長

(資料に沿って説明)

#### 教育長

この件に関しまして、質問や意見等はありませんか。

#### 島原委員

これは、期間と時期の話ですけれども、毎年、年度が終わってからそれを総括して県議会に発表ということになるのでしょうか。期間と時期は、正確には例年どうなっているのかというのを教えていただけますか。

#### 総務課長

スケジュールにつきましては今のような形で、今度の8月の定例会で最終に出したものを議会の方では報告という形になります。今回、見直しをかける関係もございまして、実際の事務をこのペースで5月6月で集中的にやることになるんでございまして、本来であれば次の施策等に反映するのを早くやりたいというのもございまして、27年度はこの状態、28年度については3月末を目処に点検評価のたたき台というものを作り上げて、そして、なるべく次の年度、若しくはその直近の年度に反映できるような仕組みでスケジュールを考えていきたいというふうに考えております。委員会及び議会への報告のスケジュールについては今後また検討ということになるかと思えます。

#### 島原委員

もう一つなんですけど、年度末で評価をしました、まとめをしましたとそうなるのと、それを何に生かすのか、どう使っていくのかということが、そのための資料だと思いますので、そこも明確にしておく必要があるんじゃないかなと。

それと、以前問題というか、問題意識を持ったことがあるんですけども、県と市町村との連携がうまく行われるためには、全体で評価したことに対して共有するというのも必要だというふうに思いますので、そこを具体的にどういうふうにやっていくのかという今後の検討課題かもしれませんけども。行った方がいいのではな

いかなというふうに思います。

#### **総務課長**

御指摘受けました話につきましても、今回、全般的に見直して、とにかく新しい施策に繋げるというのが今回の目的でございますので、それに沿うような形で色々、改善なり検討もしていきたいと思えます。

#### **教育長**

他に、質問や意見等はありませんか。

それでは、この件については、案のとおり決定します。

### **4 その他**

#### **◎ その他① 宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクトについて**

##### **スポーツ振興課長**

(資料に沿って説明)

##### **教育長**

この件に関しまして、質問や意見等はありませんか。

##### **東委員**

本当に素晴らしい事業を作られたなというふうに思うんですけど、小学生から中学生までを51名ということですけど、例えば、年間22日間、47回ですかね、ここで初期の目的、日本を代表する、宮崎を代表する選手を育成できるのかどうか。既に小学校5年生または中学生についても、スポーツ少年団に入ったり部活動に入ったり、もう種目が固定化しているんじゃないかなと思うんですが、そのような選手で、もし他の競技をやってみて、自分はサッカーをしているんだけど野球の方が向いているとかですね、そういうふうになったときに、どのようにされるのか。もう少しそれぞれのプログラムの中身を教えていただけるとありがたいと思えます。

##### **スポーツ振興課長**

今御指摘がありましたように、この育成プロジェクトにつきましては、基本的にはここにありますように、能力開発プログラムということで、コーディネーションどおりに調整力を高めるトレーニングを中心にやったり、あるいはメンタルの部分、それにあと心構えの部分等ですね、トップアスリートを目指すに基本的な力というものを育成するのがこのプログラムでございます。ここで全てトップの選手を育てるということではありませんで、特に種目がある程度固まっていきますと、その専門的な技術につきましては、競技団体の方で育成していくというような形になろうかなと思っております。

現在、51名の子ども達ですけども、既にもう全国で、例えばゴルフでベスト8ぐらいに入っていくような選手とか、全国の大会で陸上競技あたりでも決勝に残る

ような選手も中に入っております。

基本的な考え方としましては、今やっているスポーツを最終的にやるということでもいいでしょうし、この体験をする中で、色々な競技プログラムを経験することで、他の競技に転向するという子どももいるでしょう。そういった子ども達、色々抱えておりますので、適性を見極めながら伸ばしていく、その基本的な力を身につけさせるためのプログラムというのがこの事業の目的であるというふうな形で整理しております。したがって、競技団体あるいは今所属している部活動、少年団の方々とはやはり連携を深めて、お互いに皆で宮崎をあげてそういった能力のある子ども達を育てていこうというチーム力を高めていくことが大切であろうと思いますので、まだまだ周知ができていない部分がありますので、色々な機会に周知を図っていきたくと考えております。以上です。

### 東委員

今言われましたように、スポーツ少年団の理解と部活動顧問の協力ですね、本当に連携をやって力を発揮できるんじゃないかなと思いますので、よろしくお願いします。

### 島原委員

非常に本当に素晴らしいプログラムだなというふうに思うんですけども、とかく地方では指導者が育ってないとかいう話を聞いたりするものですから、素晴らしいプログラムができていますので、このプログラムを指導者の方々にも体験をしていただきながら、地域の裾野を広げていくということが将来に渡って非常に宮崎県全体の力を上げるということに繋がるんじゃないかなというふうに思いますので、是非それを意識をして進めていただければなというふうに思います。

先日、アメリカのスポーツ選手は、小さいうちに何でも色んなことをさせて、基礎力それから体幹も含めて運動能力を高めておいて、後から方向を決めていくという話を聞きましたけども、まさにそういうことがこれで実現するんじゃないかなというふうに大変期待しておりますので、よろしくお願いします。

### 春日委員

今上がっているようにすごく大事な事業ですし、どの競技に絞ってというよりは基礎的なところをたぶん育成するという一番何の運動でも基盤になるところということでもあったので、逆に言うと、そこでプログラムが一般というか、普通の子も達、普通の公立の学校の子も達にも落としていけるようなものもあれば、それは是非、先生方に研修等で広げていっていただけたらなというふうに思います。

### スポーツ振興課長

今御指摘をいただきましたけども、まさに今度来ていただきますコーディネーショントレーニングの講師の先生はドイツの方でありまして、中央の方から非常に実績のあるという方を御紹介いただきまして、お招きをして、直接子ども達に指導していただくことになっていますが、併せて、県内のアスレチックトレーナーの方々にも紹介して、そこに来ていただいて見ていただくようにしております。できましたらこのプログラムの内容で、公開できるものについては極力公開をして、関係の

そういった指導者の方々にも見ていただいて、それをまた持って帰って活用していただけるようなものにしていきたいと考えておりますので、まさにそのようなところでできるだけ広めていくということにも貢献していけるように工夫していきたいと考えます。

#### **山崎委員**

競技種目体験プログラムというものがあって、色々な競技を体験させるみたいですが、具体的にどういった競技を体験することになっているのか教えてください。

#### **スポーツ振興課長**

今年度の10競技につきましてはですね、山岳、いわゆるボルダリング、それと、ハンドボール、ウェイトリフティング、サッカー、ソフトボール、ラグビー、フェンシング、ボート、ボクシング、カヌーの10競技を今年度は考えております。

また、新たな種目として自転車など、他の競技も来年是非やりたいということで、この2年間で新たな競技を加えながらできるだけ色々なものを体験させていきたいと考えております。

#### **教育長**

他に、質問や意見等はありませんか。

それでは、この件については、これで終わります。

### **◎ 次回会議の日程等について**

#### **教育長**

それでは、次回定例会は、6月23日、木曜日、14時00分からとなっておりますのでよろしくお願いします。

これより、会議冒頭の決議により非公開とします。

傍聴者の方は、御退席をお願いします。

暫時休憩とします。